



1994年に岡山白陵高校卒業、2000年に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究所修士課程修了。同年にレイヤーズ・コンサルティングに入社し、14年に同社執行役員事業戦略事業部統括マネージングディレクターに就任した。1975年和気町生まれ。

フューチャーディメン
ションドローンインス
ティテュート

くさかよしひろ
草加好弘さん

ドローンで地方創生

昨年10月、和気町にドローンはり人口が密集していない地域。「ドローンの用途は今後ますます拡大していく。それをひとつずつ実際に使える産業にしていくことがわれわれの役割だ。この地方から全国に向けて新市場を継続的に切り開いていきたい」と目標を語る。

建設業でも人手不足が喫緊の課題であることは言うまでもない。そんななか、「日本の高い建設技術と品質を維持していくためには、ドローンなどのロボティクス技術を導入していくことが解決への近道」だと提案する。「新技術の導入は勇気のいることだが、まずは小さく始めてそれがもたらす小さな変化を感じ取ってほしい。その数が集まれば大きな改革につながっているはず」と力説する。

経営コンサルティング会社の事業戦略事業部長も務める。ポリシーは「挑戦無くして成功無し」。スクールの今後については「操縦を教えるだけではなく、実務につながるドローン技術の専門コースも設置したい」。また、「各専門分野の企業とも連携し、公共インフラの点検業務や荷物の配送業務などにも直接参入したい。それが地方の雇用促進などにつながれば嬉しい」とチャレンジは続く。

も全面的なバックアップを約束。行政や地域住民らが寄せる期待も大きい。

ドローンを飛ばす環境にうつ

てつけなのはや

る。建設業でも人手不足が喫緊の課題であることは言うまでもない。そんななか、「日本の高い建設技術と品質を維持していくためには、ドローンなどのロボティクス技術を導入していくことが解決への近道」だと提案する。「新技術の導入は勇気のいることだが、まずは小さく始めてそれがもたらす小さな変化を感じ取ってほしい。その数が集まれば大きな改革につながっているはず」と力説する。

経営コンサルティング会社の事業戦略事業部長も務める。ポリシーは「挑戦無くして成功無し」。スクールの今後については「操縦を教えるだけではなく、実務につながるドローン技術の専門コースも設置したい」。また、「各専門分野の企業とも連携し、公共インフラの点検業務や荷物の配送業務などにも直接参入したい。それが地方の雇用促進などにつながれば嬉しい」とチャレンジは続く。